

<9.16 タウンミーティング 次第>

1. 環境省の国立・国定公園総点検事業の検証

- (1) 国立・国定公園総点検事業の背景・・・(資料1)
- (2) 都道府県立・国定・国立公園の比較・・・(資料2)
- (3) 2010年開始 国立・国定公園総点検事業 18候補地の結果・・・(資料3)
 - ・18候補地のうち、2022年度までに国立・国定公園の拡張又は新規指定が完了した候補地は10地域で継続地が8地域となっている。
- (4) 2022年公表 上記総点検事業フォローアップの14候補地・・・(資料4)
 - ・フォローアップで14候補地(前回の継続8地域含む)が発表されたが、一つの候補地には複数の自然公園等を含むため、全体の調査地域は25地域に及んでいる。
- (5) 上記候補地の拡張、新規指定、公園区分の選択パターン・・・(資料5)
 - ①既存の国立・国定公園の拡張 (16候補地)
 - ②既存の国定・都道府県立公園の昇格 (5候補地)
 - ③国立公園の大規模拡大による編入または新規国定公園の選択 (4候補地)

2. 森吉山の拡張地域(案)その価値と未来・・・(資料6：プロジェクター)

- ①太平湖全集水域の国有林(戦後の秋田スギとブナ伐採地が見事に再生)
- ②森吉山ダムと河川域(日本の自然公園内のダム湖はその多くが公園指定)
- ③森吉山西麓の国有林と社有林(森吉山スキー場エリアと森吉神社西麓)
- ④奥森吉打当温泉マタギの湯エリアの国有林・私有林・入会地等(集団施設地区に)

3. 財政関係(国定・国立公園の自然環境整備事業)・・・(資料1.7)

- ①三位一体改革に伴う自然公園事業の概要
- ②都道府県立自然公園・国定公園・国立公園の整備事業の交付金制度

4. 誘客関係

- ①環境省は国が指定した公園としてのブランドを強化
- ②環境省は国立・国定公園とあわせて国内外にプロモーション

5. 私たちは「なぜ 森吉山新規国定公園を選択するのか」・・・(資料7)

- ①森吉山の地理的、歴史的・文化的要素の考察
- ②十和田八幡平国立公園編入による名称変更の考察
- ③森吉山は既存面積で国定昇格→→→自然環境調査後に拡大する
- ④北東北の観光動向と山岳観光のマインド
- ⑤森吉山の旗印は「森吉山国定公園」ジオジャパン Mt 森吉を選択
- ⑥国立公園編入要件は、十和田八幡平国立公園の分割と森吉山を入れた公園名称

6. 十和田八幡平国立公園の分割論と国立公園の分割例・・・(資料7)

- ①県内における十和田八幡平国立公園の分割論
- ②国立公園の過去の分割事例
 - ・日光国立公園(尾瀬地域を分割し尾瀬国立公園に)
 - ・上信越高原国立公園(西部の妙高戸隠地域を分割し妙高戸隠連山国定公園に)

7. 北秋田市を北東北観光のハブ拠点に(自由討論)

- ・森吉山を一望できる空港と北欧の杜エリアを、北東北観光の「ハブ拠点」に。
- ・空港から北東北の十座十湯の観光拠点までは1時間半～2時間でアクセスが可能。
- ・空港と北欧の杜地区にアウトドアショップ誘致を。
- ・数万人のイベントが可能な北欧の杜は、既設のオートキャンプ場にホテル誘致を。